

城西クリニック移転に伴うお知らせとお願い

城西クリニック 院長 松本満臣

城西クリニックの移転先での診療開始は平成 27 年 1 月からの予定ですが、駐車場とクリニックの地理的環境や検査機器の更新と増加などに伴い、お知らせ・お願いがあります。ご協力をお願い申し上げます。

1. 城西クリニックの移転先

移転先住所は、「前橋市国領町 2 丁目 200 番 10 号 輝城会ビル（旧明和短大東方館）1 階 城西クリニック」です。電話番号は現在の電話番号 027-234-7321 のままで変更ありません。移転先の地図およびアクセスについては 3 ページの図をご覧ください。また、同封のパンフレットもご覧ください。

平成 27 年 1 月以降の検査予約の場合には移転先の城西クリニックにおいて下さるよう患者さんに確認・説明をお願いします。

2. 駐車場の出入りには交通事故にご注意を

地図でお分かりかと存じますが、群馬大学病院前の県道 6 号線は交通量が多く、西部からの大渡橋経由や敷島公園入り口方向からおいでになる場合には右折して駐車場に入るには時間を要する可能性がありますし、事故などに遭遇可能性もあります。可能な限り、3 ページの図に示した迂回路を経由していただくことをお勧めします。

3. 検査予約時刻の 30 分前にお越し下さい

駐車場から城西クリニック受付までの距離は、現状と比べると少し遠くなります。歩行障害などがある場合には時間的に余裕をみて検査予約時刻の 30 分前においでいただきたいと思います。なお、車椅子は当クリニックで用意してありますので、付き添いのご家族の方が受付窓口で受け取って受診者の車椅子での介助をお願いします。

当クリニックでも人員増を予定しておりますが、MRI 装置が 1 台増えて 3 台になり、CT は従来どおり 1 台で、計 4 台の装置です。検査前の身体計測・問診、

検査室での更衣と金属物チェック、貴重品のロッカーでの管理、検査中の造影剤注射、造影剤による副作用の有無のチェックなどを含めて、城西クリニック職員が建物外からの患者さんの移送の介助に加わるほどの人的余裕はないと思っています。これまでも受付から問診・検査の説明などには15分程度を要していますので、少し余裕を見て30分前に到着していただくことを希望します。

検査予約時刻ちょうどに来院されても、所定のプロセスには15分程度を要しますので、検査開始が15分遅れることとなります。MRIの検査時間は30分前後を要しますので、検査終了も15分遅れます。早く来られて次の検査枠を待っている方に迷惑をかけることとなります。自分が予定時刻通りに検査してもらい、次の検査予定の方に迷惑をかけないためにも検査予約時間の30分前の来院をぜひよろしくお願いいたします。

なお、検査予定日・予定時刻に来院できない事情が生じた場合などの検査のキャンセルはできるだけ早めに電話連絡をお願いします。

4. MRI 検査における体外・体内磁性体チェックの重要性

MRI 検査では磁性体金属の吸引事故が今でも全国のあちこちで頻発しているとの報告があります。当院でも過去に酸素吸入中の患者の付き添いの医師と患者さんが許可なくMRI室に入り、重い酸素ボンベがすっ飛んでMRIガントリーに吸引・吸着した事故が発生したことがあります。幸い、患者さんなどへの人的被害はありませんでしたが、装置は数日をかけて修繕しましたので、その間はこの装置は使用不可となりました。1.5TのMRI装置でも磁性体の吸引力は上記のごとくですが、今後は3T装置が加わることからさらに厳重な安全確認が必要となります。

車椅子の場合には問診後には非磁性体の車椅子に乗り換えていただきます。磁気カード、眼鏡、義歯、義肢、財布・現金、磁気カード、携帯電話、アクセサリ、カラーコンタクトレンズなどはあらかじめロッカー内に預かります。基剤にアルミニウムを含むパッチ製剤（ニコチネル、ニトロダームなど）も取り除いてもらいます。その他にも、汗ばんだ状態でMRI検査を行うと皮膚同士が接触して誘導電流を生じて火傷を起こすこともあり、濃厚なマスカラ、パーマネットアイライン、刺青などでも磁性体による熱傷の原因になりうるということが知られています。検査前の看護師の問診、検査直前の担当技師によるダブル・チェックを行いますが、特に女性の場合には厚化粧を避け、理想的には“すっぴん”状態での来院が望ましいことを付け加えておきます。

その他のお願い事項は次号でのべたいと思います。よろしくお願いいたします。

城西クリニック移転後 (平成27年1月予定)

交通アクセス



■お車でお越しの方

当院の西側に駐車場があります。ただし、群大病院入口方向からの来院では、片側2車線の道路を横断することが難しいため、群大病院の周りを迂回し、国道17号を経由しての来院をお勧めします。



●駐車場進入方法



国道方向からの進入をお勧めします。

●群大病院・箕郷方面からの来院



群大病院を一回りして、国道17号を経由してご来院下さい。
出庫時は左折してお帰り下さい。



QRコード

左のQRコードをスマホなどで読み取ると、「google maps」が開きます。
「google maps」では、『明和学園短期大学図書館』と表示されていますが、現在は『輝城会ビル』となっており、この建物に城西クリニックが移転します。

■電車・バスでお越しの方

JR両毛線 前橋駅から群大病院を経由するバスを利用し、「昭和三丁目」バス停より徒歩1分。
なお、群馬総社駅、渋川駅、新前橋駅、高崎駅なども群大病院を経由するバスが運行しています。
また、市町村によっては群大病院行きの直行バスが運行していることもあります。

■所在地等

所在地：群馬県前橋市国領町二丁目200番10号
名称：城西クリニック
電話：027-234-7321
FAX：027-234-7325
Mail：jousai@kijoukai-gr.jp
URL：http://kijoukai-gr.jp/js/



ホームページ
QRコード

テクニカルレポート Vol. 34—MRIの安全を考える INNEVISION より—

前号 Vol.33にて、静磁場における磁性体の吸引事故について述べさせていただきました。今号も医療と画像の総合情報誌「INNEVISION」6月号の特集MRIのリスクマネジメントより「MRIの安全について」を参考に、体内金属について述べさせていただきます。

MRI検査の最大のリスクは吸引事故があげられます。吸着物の代表例として車イス・ストレッチャー・酸素ボンベ・輸液ポンプや点滴台・清掃機材等が上げられます。これらは、磁性体物質がマグネットに吸引される際に、撮影室内にいる人に当たったりマグネットと磁性体の間に挟まれたりして怪我をする原因になります。

一方、人体に直接影響を与えるものとして、体内インプラントが上げられます。体内インプラントの代表例としてはペースメーカーや手術による材質不明の固定具やクリップ、さらに刺青等があげられますが、今回は手術による体内インプラントについて説明し、当院の今後の対応について述べます。最近のほとんどのボルト、スクリュー、プレートの材質はチタンまたはチタン合金、タンタル、ステンレスが多く用いられていますが、エルジロイ、ナイチノール等の合金も使用されています。チタンは非磁性体として安全性は確立していますが、エルジロイやステンレスは吸引試験を行うと吸引され、3Ts装置では1.5T装置の倍以上の力で吸引されます。

発熱試験においてもエルジロイとチタン合金の人工股関節において9℃、オーステナイト系ステンレス製の上腕骨ネイルで最高12.7℃、チタン合金5.3℃の温度上昇との実験結果の報告があります。一番多い歯科用のインプラントは最大1℃と報告されています。人工関節等の比較的大きなインプラントでは温度上昇が高く、小さな物は逆に温度上昇が低いという結果が出ています。体内インプラントがあることがあっても検査可能と判断されればMRI検査は施行しますが、あることが事前に判っていれば温度上昇を抑えるためにSAR(specific absorption rate: 比吸収率)を下げる等の対処方法がありますが、チタンや歯科治療以外の体内インプラントがある場合は検査を安全に行うため、3T装置での検査は避け、1.5T装置にて検査をさせていただく予定であり、装置の選択は当院医師の判断とさせていただくことをご了承いただきたいと思います。また、当施設は3T装置にて検査を施行しても施設基準により1.5T装置と同額となります(画像管理加算2必須: 条件を満たした病院のみ所得可能)。

移転にともない1.5T装置と3T装置を平行して使用していくことになります。より安全に検査を施行していくため体内インプラントによる吸引や発熱といった状況を回避するためにも患者様の情報およびインプラントに関する情報ならびに材質等、診療情報提供書に詳細をご記入頂ければ幸いです。

磁気共鳴専門技術者 大竹 知弘

医療法人 社団 高仁会 **城西クリニック**

検査予約はお電話1本でOK!

TEL: 027-234-7321 FAX: 027-234-7325

〒371-0037 群馬県前橋市上小出町1-13-17